

登録グラウト基幹技能者
令和6年度(第16回)

認定講習の受講案内



国土交通大臣登録(登録番号25)

一般社団法人 日本グラウト協会

登録グラウト基幹技能者
令和6年度(第16回) 認定講習の日程

受講申込案内
(WEBによる申込書作成)

令和6年6月18日(火)ホームページ掲載

申 込 期 間

令和6年6月21日(金)～7月22日(月)(当日の消印有効)

但し、定員になり次第締め切ります。

(受講資格・書類審査)

受講資格を有する者



受講票の発送

令和6年8月初旬 所属会社に発送

(開催10日前までに届かない場合は、事務局へお問い合わせください。)



登録グラウト基幹技能者講習の実施

東京会場:令和6年9月7日(土)～9月8日(日)



合格発表

令和6年10月中旬予定(協会ホームページに公示・所属会社に郵送)



登録グラウト基幹技能講習修了証の交付(所属会社に郵送)

令和6年11月中旬予定

1. 開催概要

(1) 令和6年度の講習日程と開催会場

東京会場 ※今年度は、東京のみ開催します。

【日時】令和6年9月7日（土）～ 9月8日（日）

1日目：午前 9時10分～午後 4時40分（受付開始：8時45分～）

2日目：午前 8時30分～午後 3時40分（受付開始：8時10分～）

午後 4時00分～午後 5時00分（修了試験）

【場所】日本教育会館 第3会議室

東京都千代田区一ツ橋2-6-2

☎ 03-3230-2833（道案内専用電話）

※会場には駐車場はありません。

(2) 募集定員 40名

WEB上の仮申請ではなく、2の（2）の本申請の書類到着をもって受付とします。
募集定員数を超えた場合、所属会社ごとの人数による調整を行います。

(3) 講習内容

講義（2日間 計12時間）及び修了試験1時間により行います。

講義の科目と内容 次頁を参照

(4) 試験

試験は、講習の科目に応じた内容について合計1時間行います。

試験問題は、四者択一式で、講義の内容から計25問出題します。

25問中5問は、①薬液注入工事、②ジェットグラウト工事、③岩盤注入工事の中から一つの工事を選択し5問解答することになります。

※ ①～③で選択した工事毎の試験成績（5問）が一定の基準値に達していない場合は、全体成績が合格基準値以上でも不合格となるので留意してください。

講義の科目・内容・講義時間

科 目	内 容		講義時間
1. 基幹技能一般知識に関する科目	登録基幹技能者のあり方に関する事項		1.0時間
	実務に役立つ話し方 OJT教育に関する事項		1.0時間
2. 基幹技能関係法令に関する科目	関係法令に関する事項		1.0時間
3. 建設工事の施工管理、工程管理、資材管理その他の技術上の管理に関する科目	施工管理に関する事項		0.5時間
	工程管理に関する事項		0.5時間
	資材管理に関する事項		0.5時間
	原価管理に関する事項		
	品質管理に関する事項		0.5時間
	安全管理に関する事項（労働安全衛生法含む）		1.0時間
4. 上記1から3の全部又は一部	工事現場における基幹的な役割及び当該役割を担うため必要な技術に関する事項	(1) 土木一般・土質関連の知識	1.5時間
		(2) 最近の土木技術とグラウチング技術	
		①薬液注入工事	1.5時間
		②ジェットグラウト工事	1.5時間
		③岩盤注入工法（ダム・トンネル・その他グラウト工事）	1.5時間
計			12時間

上記科目1～3 登録基幹技能者講習共通テキスト
（第5版令和4年度発行、基幹技能者制度推進協議会監修）

上記科目4 登録グラウト基幹技能者講習専門テキスト
（第5版令和5年6月発行、（一社）日本グラウト協会発行）

2. 受講要領

(1) 受講資格

グラウト工事に関し、10年以上の実務経験を有する者で、うち3年以上の職長経験を有しかつ、次の各号に掲げるいずれかの資格を有する者でなければこれを受けることが出来ません。

- ①1級土木施工管理技士
- ②2級土木施工管理(薬液注入)技士
- ③2級土木施工管理(土木)技士
- ④ジェットグラウト技士

(2) 受講申込書類(下記①～⑥) 本申請書類

◇用紙は全てA4サイズで提出して下さい。

◇①、②、③の種類はWEB上で入力し作成してください。

①受講申込書(別記様式1) ※受講料払込書の写し貼付

・顔写真(裏面に氏名を記入のうえ)を貼付して下さい。

(撮影後6カ月以内のカラー、縦3cm×横2.4cm 無背景) ※免許証サイズ

・受講料払込書の写し(1人につき1枚)

②実務経験証明書(別記様式2) 【巻末の記入要領・記入例を参照】

工事名、作業内容及び期間が明記され、申請者の実務の経験を有する建設業の種類を判定できることが可能なものであり、当該事業主が証明したもの。

または、事業主が証明出来ない場合は、申請者の経験を証明できる立場の者が証明したもの。

申請者が事業主の場合は、記載事実に相違ない旨の誓約をして下さい。

③写真票(別記様式3)

必要事項を記入のうえ、①と同一の顔写真を貼付して下さい。

(カラー、縦3cm×横2.4cm 無背景)裏面に氏名を記入のこと。 ※免許証サイズ

④資格証

1級土木施工管理技士、2級土木施工管理技士(薬液注入)、2級土木施工管理技士(土木)、ジェットグラウト技士のいずれかの合格証の写し。

受講申込書の「保有資格」欄にチェックを付した合格証をA4サイズに縮小コピーしたもの。

⑤職長教育修了証

労働安全衛生法第60条に規定する教育を受けたことを証明する書類(修了証)。

※職長教育とは、労働安全衛生法第60条に基づく講習のことで、建設業労働災害防止協会や雇用・能力開発機構で実施している講習のほか、元請などで実施されている講習も含まれます。

⑥住民票(抄本)原本

(3) 受講手数料 35,000円(税込)

※宿泊・食事(講習時の昼食など)・交通費等は各自で手配してください。

郵便振替口座： ゆうちょ銀行 00170-1-610486

一般社団法人 日本グラウト協会

(T1010005004465) ※インボイス番号

※振込用紙は郵便局備え付けの用紙をご利用下さい。

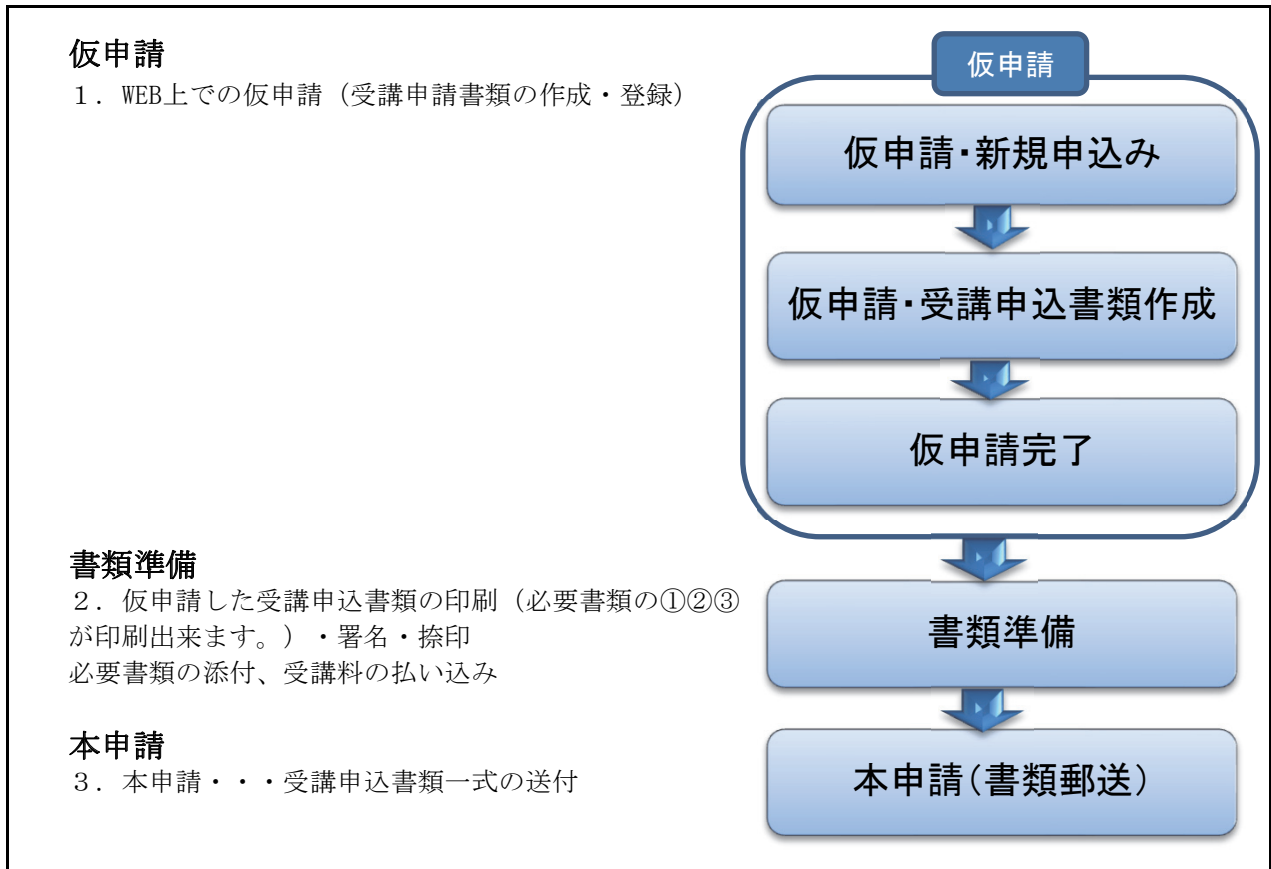
※他金融機関からの振込の場合は、019店 当座 0610486

(4) 申込方法

WEBの「**仮申請**」により受験申請書類を作成し、受講料払込書（写）貼付、署名・捺印後、各証明書類を添付した「**本申請**」の書類を送付する。（正式申込）

申込は仮申請の手順でお願いいたします。

(5) 申込期限：令和6年7月22日（月）（当日の消印有効）



仮申請で作成いただきました申込書類については、印刷後必要箇所に署名・捺印の上、以下の書類一式を折らずに角2封筒に入れ、必ず配達記録が残る方法（簡易書留など）でお送りください。

仮申請は正式な申込ではありません。上記（5）の締め切りにご留意下さい。

【必要書類】（①～⑥全てが揃っていること）

- ①受講申込書（本人の捺印、印刷時に写真が無い方は顔写真の貼付）、受講料の払込取扱票の写し（1人につき1枚）
- ②実務経験証明書（実務経験を証明する者の捺印、および本人の宣誓の署名・捺印）
- ③写真票（印刷時に写真が無い方は、顔写真の貼付）
・・・ここまでの書類は、WEBの仮申請で作成されます・・・
- ④資格証の写し
- ⑤職長教育修了証（再教育修了証でも可）
- ⑥住民票（抄本）原本（写し不可）

送付先（令和2年に協会の住所が変わりました。新住所は以下の通りです。）

送付先	一般社団法人 日本グラウト協会 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台3-1 ステージ駿河台3階 TEL 03-3816-2681 FAX 03-3816-3588 ※「登録グラウト基幹技能者認定講習申込書 在中」と明記のこと
-----	---

☆WEB上からの仮申請が出来ない場合

協会ホームページ（URL：<http://www.japan-grout.jp/>）から①～④の様式をダウンロードして、受講申込書類の作成・捺印を行い、上記宛郵送していただいても結構です。

認定講習

①	受講申込書（別記様式1）	ダウンロードPDF
	実務経験証明書（別記様式2）	ダウンロードPDF
②	実務経験証明書（記入例）	ダウンロードPDF
	実務経験証明書の記入要領	ダウンロードPDF
③	写真票（別記様式3）	ダウンロードPDF

（6）講習会に持参するもの

- ①受講票
 - ②筆記用具（黒鉛筆と消しゴムをご持参下さい。）
- ※テキストは講習会当日に配布いたします。

（7）その他

受講票は、受講申込書類・受講料の入金確認後、所属会社にお送りいたします。
また、講習（講義と試験）においては原則として遅刻、早退は認められません。

3. 合格発表及び試験問題の公表

合格発表日： 令和6年10月中旬を予定

合格又は不合格の通知書は所属会社に送付します。
合格者の受講番号を協会ホームページ（URL：<http://www.japan-grout.jp/>）に公表いたします。

終了した試験問題及び合格判定の基準は、一定期間協会ホームページで公表します。
ただし、内容に関する問い合わせについては一切応じません。

4. 講習修了証の交付

試験合格者は、「登録グラウト基幹技能者」として認定され、（一社）日本グラウト協会より建設業法施行規則に規定する「登録グラウト基幹技能者講習修了証」が交付されます。

5. 講習修了証の有効期限及び更新申請

講習修了証の有効期限は「登録グラウト基幹技能者講習修了証」の交付日から5年間です。有効期限を更新する場合は、更新講習を受講し修了することが必要です。
講習修了証の更新方法などは別途お知らせいたします。

6. 不合格者への特別措置

講習を受講し、修了試験を不合格になった方は、翌々年度まで、かつ2回まで講義受講の免除を受けることができます。

講義受講の免除を受けようとする方は、「再受講・再受験申込書」に、「写真票」を添えて（一社）日本グラウト協会に提出して下さい。（WEBによる仮申請は行えません）受講免除申請者の受験手数料は7,000円（税込）です。（再度受講を希望される方の受講手数料は35,000円（税込）です。）

また、再受験・再受講申請者は、提出書類の一部（「実務経験を証明する書類」、「職長の経験を証明する書類」、「1級土木施工管理技士」、「2級土木施工管理技士（薬液注入）」、「2級土木施工管理技士（土木）」、「ジェットグラウト技士」のいずれかの合格証の写し）、「住民票」を省略できます。

再受講・再受験

① 受講申込書（別記様式1-2）	ダウンロードPDF
③ 写真票（別記様式3-2）	ダウンロードPDF

7. CPDS及び人材開発助成金の対象講習

- (1) この講習は、CPDS対象プログラムです。講習終了後、14ユニット受けられる受講証明をお渡しいたします。（現在認定承認申請中）
- (2) この認定講習は、厚生労働省の「人材開発助成金」の『経費助成と賃金助成』の対象講習です。詳しくは、事業主の所在地を管轄する都道府県労働局、またはハローワークにご確認下さい。

8. 個人情報に関する取扱い

は

- (1) 法令等の遵守
一般社団法人日本グラウト協会は、登録グラウト基幹技能者の個人情報を取扱うにあたり、個人情報保護に関する法令等を遵守します。
- (2) 利用目的
利用目的は次の通りです。
 - ①登録グラウト基幹技能者講習申込の資格審査及び個人認証の為
 - ②登録グラウト基幹技能者の資格証等の再発行、更新講習の為
 - ③一般財団法人建設業振興基金が管理運営する「登録基幹技能者データベース」への登録
 - ④登録基幹技能者に関する重要なお知らせを告知する為
 - ⑤資格制度の推進を図ることを目的とした、各種アンケート調査の為
 - ⑥個人情報を統計的に集計・分析し、個人を識別・特定できない形態に加工した統計資料を作成する為
- (3) 適正な取得
一般社団法人日本グラウト協会は、登録グラウト基幹技能者の個人情報を偽り、その他の不正手段で取得することはいたしません。
- (4) 第三者への提供
一般社団法人日本グラウト協会は、次の場合を除き個人情報を第三者に提供することはいたしません。
 - ①登録グラウト基幹技能者よりあらかじめ同意を得ている会社に提供する場合
 - ②法令に基づく場合

- ③人の生命、身体又は財産の保護のために必要がある場合であって、登録グラウト基幹技能者の同意を得ることが困難であるとき
- ④公衆衛生の向上または児童の健全な育成推進のために特に必要がある場合であって、登録グラウト基幹技能者の同意を得ることが困難であるとき
- ⑤国の機関若しくは地方公共団体またはその委託を受けた者が法令の定める事務を遂行者のすることに対して協力する必要がある場合であって、登録グラウト基幹技能者の同意を得ることにより、当該事務の遂行に支障を及ぼすおそれがあるとき

(5) 安全管理

一般社団法人日本グラウト協会は、個人情報の漏洩、滅失または毀損の防止、その他安全管理のため必要かつ適切な措置を講じます。

(6) 個人情報管理者の指導・監督

一般社団法人日本グラウト協会は、個人情報を取扱うにあたっては、個人情報の安全管理が図られるよう指導及び適切な監督を行います。

(7) 委託先の監督

一般社団法人日本グラウト協会は、個人情報の取扱いの全部または一部を委託する場合は、その取扱いを委託された個人情報の安全管理が図られるよう、委託を受けた者に対する必要かつ適切な監督を行います。

(8) 苦情対応

一般社団法人日本グラウト協会は、個人情報の取扱いに関する苦情について、適切かつ迅速な対応をいたします。

お問合せ先

一般社団法人 日本グラウト協会

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台3-1 (ステージ駿河台3階)

TEL 03-3816-2681 FAX 03-3816-3588

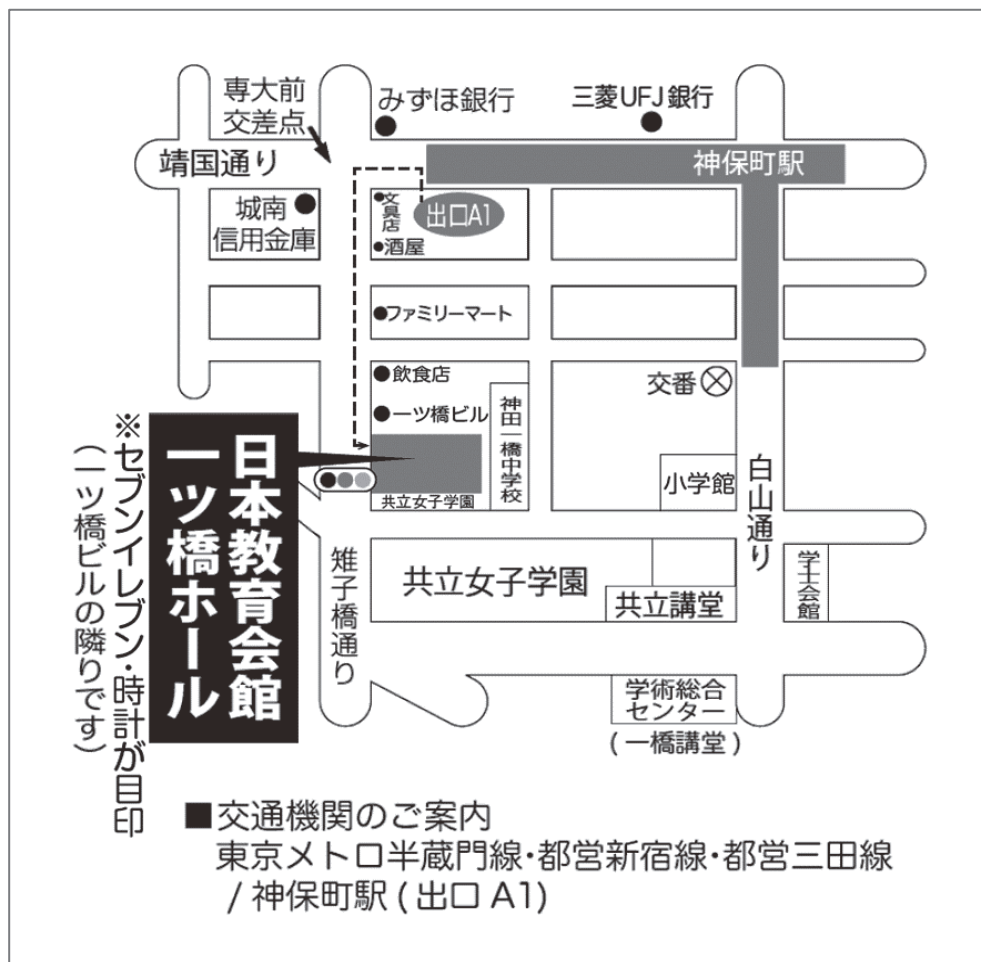
E-mail:ngtk@isis.ocn.ne.jp

会場

日本教育会館 第3会議室

東京都千代田区一ツ橋2-6-2

☎ 03-3230-2833 (道案内専用電話)



【交通のご案内】

- ・地下鉄都営新宿線・東京メトロ半蔵門線神保町駅 (A1出口) 下車徒歩3分
- ・地下鉄都営三田線神保町駅 (A1出口) 下車徒歩5分
- ・東京メトロ東西線竹橋駅 (北の丸公園側出口) 下車徒歩5分
- ・東京メトロ東西線九段下駅 (6番出口) 下車徒歩7分
- ・JR総武線水道橋駅 (西口出口) 下車徒歩15分

※駐車場はありません。

※受付番号

※受験番号

令和6年度(第16回) 登録グラウト基幹技能者 認定講習申込書

一般社団法人 日本グラウト協会 御中

記入日 令和 年 月 日

(フリガナ) 受講者氏名		受講会場 東京会場		
生年月日	昭和・平成 年 月 日生	性別	1. 男 2. 女	
自宅	(〒 -) (連絡先TEL)			
所属会社名 (部・支店)	部・支店			
同上所在地	(〒 -) (TEL - -) (FAX - -)			
返金の場合	振込銀行	銀行 支店		
所属会社の 銀行口座	預金	1. 普通 2. 当座	口座番号	
	口座名義			
グラウト工事の実務経験年数	年	うち職長経験年数	年	
↓ 提出した合格証の写しに☑ 保有資格	資格取得日(取得した全てを記入)		(振替払込請求書兼受領証の写し貼付欄) 受講手数料 35,000円(税込) ※振込手数料はご負担下さい。 振込先: ゆうちょ銀行 00170-1-610486 一般社団法人 日本グラウト協会 ※振込用紙は郵便局備え付けの用紙をご利用下さい。 ※他金融機関からの振込の場合は、〇ー九(ゼロイチキ्यू)店 当座 0610486 ※インボイス番号 (T1010005004465)	
<input type="checkbox"/> 1級土木施工管理技士	交付番号	年 月 日		
<input type="checkbox"/> 2級土木施工管理技士 (薬液注入)	交付番号	年 月 日		
<input type="checkbox"/> 2級土木施工管理技士 (土木)	交付番号	年 月 日		
<input type="checkbox"/> ジェットグラウト技士	交付番号	年 月 日		
<input type="checkbox"/> 職長教育修了証		年 月 日		
個人情報の取り扱いについて				
当申込書の提出により、受講案内にある「個人情報に関する取扱い」に同意頂いたものとします。				
(一社)日本グラウト協会使用欄				
のりしろ 写真貼付欄 (3cm×2.4cm) ※運転免許証サイズ (正面上半身のもの)	注) 1. 仮留め(上部を軽く糊付) 2. 撮影後6カ月以内のカラー写真(カラーコピー、白黒写真、ポラロイド写真不可) 3. 写真の裏面に氏名を記入 4. 指定サイズ外、不鮮明なもの、帽子やサングラス着用など証明写真に相応しくないもの、本人確認がしにくいものも不可	払込票の貼り付	有	無
	実務経験証明書	有	無	
	職長経験の証明書類	有	無	
	写真票同封	有	無	
	写真の貼り付け	有	無	
	写真の状態	有	無	
	保有資格の合格証	有	無	
	住民票	有	無	

登録グラウト基幹技能者講習
実務経験証明書
(とび・土工・コンクリート工事業)

別記様式 2

下記のグラウト工事にかかる受講申請者の実務経験の内容は、下記のとおりであることを証明します。

証明者：会社名 (会社印)
所在地
職名
氏名 (代表者印)

証明者の範囲：

証明者は今の事業主が前の職場の経験の部分も含めて、また、元請の建設業者、所長、現場代理人、監理技術者等が証明することも出来ます

令和 年 月 日

受講申請者の氏名		証明者との関係	
受講申請者の住所			
受講申請者電話番号		生年月日	

職長欄	実務経験の内容	作業内容	実務経験年数 (年 月)
			年 月 ～ 年 月 (・)
			年 月 ～ 年 月 (・)
			年 月 ～ 年 月 (・)
			年 月 ～ 年 月 (・)
			年 月 ～ 年 月 (・)
			年 月 ～ 年 月 (・)
			年 月 ～ 年 月 (・)
			年 月 ～ 年 月 (・)
			年 月 ～ 年 月 (・)
			年 月 ～ 年 月 (・)
			年 月 ～ 年 月 (・)
			年 月 ～ 年 月 (・)
			年 月 ～ 年 月 (・)
			年 月 ～ 年 月 (・)
			年 月 ～ 年 月 (・)
			年 月 ～ 年 月 (・)
			年 月 ～ 年 月 (・)
			年 月 ～ 年 月 (・)
			年 月 ～ 年 月 (・)
			年 月 ～ 年 月 (・)
			年 月 ～ 年 月 (・)
			年 月 ～ 年 月 (・)
			年 月 ～ 年 月 (・)
			年 月 ～ 年 月 (・)
			年 月 ～ 年 月 (・)
			年 月 ～ 年 月 (・)
			年 月 ～ 年 月 (・)
			年 月 ～ 年 月 (・)
			年 月 ～ 年 月 (・)
備考：実務経験年数については、とび・土工・コンクリート工事業の内、グラウト工事に関して10年以上、かつ、そのうち職長経験年数については3年以上が、受講資格の一つの要件となります。		合計： 年 月 (うち職長経験 年 月)	

誓約欄

この証明事項に事実と相違がある場合には合格を取り消されても異存のないことを誓約いたします。

氏名 印

※受付番号

東京

※印欄は記入しないで下さい。

令和6年度 登録グラウト基幹技能者認定講習

写 真 票

受 験 番 号	※
---------	---

フリガナ	
氏 名	

写真貼付欄 (3cm×2.4cm) ※免許証サイズ (正面上半身のもの)

(令和 年 月 日撮影)

- 注) 1. 全面のリづけ
2. 撮影後6ヵ月以内のカラー写真(カラーコピー、白黒写真、ポラロイド写真不可)
3. 写真の裏面に氏名を記入
4. 指定サイズ外、不鮮明なもの、帽子やサングラス着用など証明写真に相応しくないもの、本人確認がしにくいものも不可

実務経験証明書の記入要領

1) 実務経験

グラウト工事に関する「実務経験」とは、以下の工事を施工に従事した経験をいいます。

① 薬液注入工事

地盤を対象とする薬液注入工事

<対象外工事>

コンクリート補修工事や防水工事など地盤以外の各種構造物に対する薬液注入工事は含みません。

② 高圧噴射攪拌工事

地盤を対象とするジェットグラウト工事

<対象外工事>

深層混合処理等の機械攪拌式(ジェット併用を含む)、各種ドレーン、コンパクション工事等は含みません。

③ ボーリンググラウチング工事

ダム工事、トンネル工事や地下構造物工事における岩盤を対象としたボーリンググラウチング工事及び土堰堤・堤防等の軟弱地盤や空隙(トンネル背面への注入を含む)を対象としたボーリンググラウチング工事

<対象外工事>

地質調査やさく井等のボーリングのみの工事は含みません。

なお、施工に直接関わらない以下の経験は含みません。

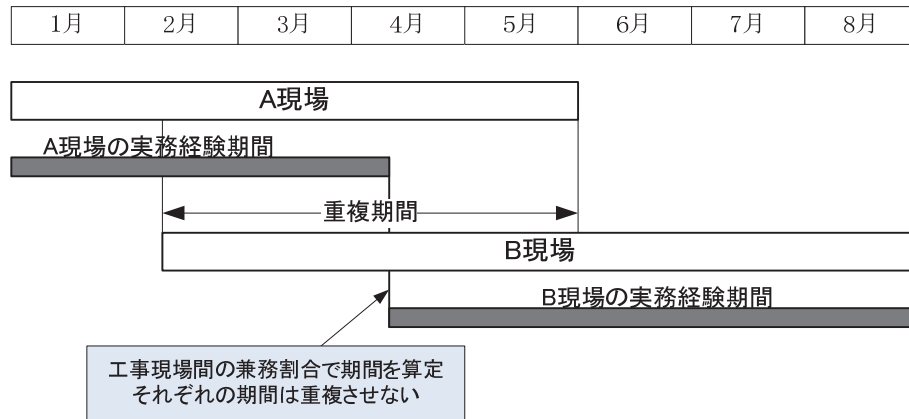
- ・ 設計、計画、検討、見積、営業の経験
- ・ 研究所・学校・訓練所等における研究、教育及び指導等の経験
- ・ 事務系の仕事に関する経験

2) 職長としての実務経験

現場の作業員を直接に指揮監督する立場であり、職長のほか、現場代理人、主任技術者、施工監督、工事主任、作業主任等の職種の実務経験を含みます。

3) 実務経験年数の考え方

実務経験の年数(期間)は、当該工事に従事した期間であり、工事の契約工期ではありません。工期が重複する複数の工事を短期間で移動を繰り返す場合は、以下のとおり従事割合に応じて工事毎の期間を算定してください。



複数の現場での従事期間が重複している場合の経験期間の算定

4) 証明者について

証明者欄には現在の勤務先の代表者等の署名・押印（公印）が必要です。
 以前に勤めていた会社の経験を含めて、現在の会社の証明で結構です。

・受講者自身が代表者の場合

受講者自身が代表者の場合は、証明欄に代表者である旨を明記し、自分で証明して証明者との関係には「本人」と記入してください。

実務経験証明書の作成にあたっての注意

- 1) 記入は、必ず申込者自身が行ってください。
- 2) 記入は、必ず黒のペン又はボールペン(鉛筆は不可)を用い、欄内に当該事項を字をくさず書き込んでください。
- 3) 実務経験年数は申込日の前月末現在で記入してください。
- 4) 実務経験証明書類の記載を訂正する場合、訂正箇所に証明者の訂正印が必要です。
- 5) 実務経験証明書等は、一度提出したあとは、実務経験年数と経験内容の加筆、訂正はできません。

**登録グラウト基幹技能者講習
実務経験証明書**
(とび・土工・コンクリート工事業)

別記様式 2

下記のグラウト工事にかかる受講申請者の実務経験の内容は、下記のとおりであることを証明します。

証明者：会社名 **株式会社日本グラウト協会** (会社印)
所在地 **東京都文京区後楽1-1-2**
職名 **代表取締役社長**
氏名 **日本太郎** (代表者印)

証明者の範囲：
証明者は今の事業主が前の職場の経験の部分も含めて証明することもできます。

受講申込日 → **令和 年 月 日**

①実務経験に該当する否か、記入上の注意事項を参照の上、該当するもののみを記入してください。
②工事名等は、事業主と元請間における正式工事名でなく、所属会社と元請間の契約工事名でも結構です。
③工事名で業液注入等対象となる**内業液注入工事**、○○△△工事の内**業液注入工事**という表記で内容が判別できるように記載してください。

職長欄	実務経験の内容	作業内容	実務経験年数 (年 ヶ月)
○〇下水道築造工事の内業液注入工事	現場施工	S60年 10月 ~ S61年 8月 (0+1)	
△△駅改良工事の内地盤改良工事	現場施工	H4年 9月 ~ H5年 11月 (1+2)	
××ダム建設工事の内基礎処理グラウト工	現場監督	H7年 10月 ~ H11年 9月 (4+0)	

①証明者欄には勤務先の代表者等の署名・押印(公印)が必要で、以前に勤めていた会社の経験も含めて、現在の会社の証明で結構です。
②受講者自身が代表者の場合は、証明欄に代表者であることを明記し、自分で証明して証明者との関係欄には本人と記入してください。

職長	昭和27年10月5日	社長と社員
使用者の名	昭 和 2 7 年 1 0 月 5 日	
期間	期間は、○○年△△月→○○・△△と記入してください	

期間は、○○年△△月→○○・△△と記入してください

備考	実務経験年数については、グラウト工事に関して10年以上、かつ、そのうち職長経験年数については3年以上が、受講資格の一つの要件となります。
合計	10年 6月 (うち職長経験 4年 6月)

実務経験10年以上
職長経験3年以上が必要で、条件を満足していることを確認してください。

誓約欄

この証明事項に事実と相違がある場合には合格を取り消されても異存のないことを誓約いたします。

氏名 後 菜 二 郎 (印)

自筆で署名・押印してください。

令和6年度 登録グラウト基幹技能者認定講習

再受験・再受講 申込書

一般社団法人 日本グラウト協会 御中

記入日 令和 年 月 日

フリガナ				受験・受講会場	東京会場
氏名				性別	1. 男 2. 女
生年月日	昭和・平成	年	月	日生	
自宅住所	(〒 -) (連絡先TE - -)				
所属会社名 (部・支店)	部・支店				
同上所在地	(〒 -) (TE - -) (FA - -)				
返金の場合	振込銀行	銀行			支店
所属会社の 銀行口座	預金	1. 普通	2. 当座	口座番号	
	口座名義				
(講習を受けた会場名および受講年月日、受験番号)					
受講会場名					
受講年月日	令和	年	月	日	～ 月 日 日の2日間
受験番号	(振替払込請求書兼受領証貼付欄)				
受験・受講の選択 (いずれかに○)	再受験のみ	7,000円(税込)			受講手数料 35,000円(税込) ※振込手数料はご負担下さい。 振込先：ゆうちょ銀行 00170-1-610486 一般社団法人 日本グラウト協会 ※振込用紙は郵便局備え付けの 用紙をご利用下さい。 ※他金融機関からの振込の 場合は、〇一九 (ゼロイチキュウ)店 当座 0610486
	再受験と再受講	35,000円(税込)			
個人情報の取り扱いについて					
当申込書の提出により、受講案内にある「個人情報に関する取扱い」に 同意頂いたものとします。					

のりしろ

写真添付欄

(3cm×2.4cm)

※免許証サイズ

(正面上半身のもの)

- (注) 1. 仮留め(上部を軽く貼付け)
2. 撮影後6カ月以内のカラー写真
(カラーコピー、白黒写真、ボラド写真不可)
3. 写真の裏面に氏名を記入
4. 指定サイズ外、不鮮明なもの、帽子やサングラス着用
などの証明写真に相応しくないもの、本人確認がし
にくいものも不可

※受付番号

東京

※印欄は記入しないで下さい。

令和6年度 登録グラウト基幹技能者認定講習

写 真 票

受 験 番 号	※
---------	---

フリガナ	
氏 名	

写真貼付欄
(3cm×2.4cm)
※免許証サイズ
(正面上半身のもの)

(令和 年 月 日撮影)

- 注) 1. 全面のりづけ
2. 撮影後6カ月以内のカラー写真(カラーコピー、白黒写真、ポラロイド写真不可)
3. 写真の裏面に氏名を記入
4. 指定サイズ外、不鮮明なもの、帽子やサングラス着用など証明写真に相応しくないもの、本人確認がしにくいものも不可